

2023年度 大阪大学大学院国際公共政策研究科

博士後期課程 学生募集要項

(2023年10月入学)

※不測の事態により本募集要項に記載の内容に変更が生じる可能性があります。

必要に応じて、本研究科ウェブサイト(<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/ja/admission/admission-information/>)上の「募集要項記載事項の変更点」に掲載しますので、適宜ご確認ください。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、国際公共政策研究科は、教育目標に定めた人材を育成するために、次のような者を選抜する。

1. 公共政策課題、たとえば、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの諸課題に関心を有する者
2. これらの公共政策課題を種々の観点から解明することを望む者
3. 学習によって得た知識やものの考え方などを用いて、他者と積極的に議論をすることを希望する者
4. 公共政策課題の解決に向けて指導性を発揮したいと考える者
5. 外国語、特に英語に関心を有し、さらにこれに磨きをかけ、国際社会で自らの主張を積極的に発信したいと望んでいる者

以上のような人材を得るため、本研究科では、博士前期課程への入学のためには、英語能力試験、研究計画書に基づいた口述試験を課している。博士後期課程への入学のためには、さらに修士論文などの論文の提出を要求している。

1. 英語の能力については、TOEFLやTOEIC、IELTSなどの評価の定まった試験で一定のスコアを得ていることを要求する。
2. 研究計画書では、入学後に研究することを希望するテーマ、当該テーマを研究する背景にある問題意識、研究の方法論などが論理的・説得的に論じられていなければならない。
3. 口述試験では、研究計画書に記された諸事項に関する能力が試されるとともに、自らの主張を説得的に伝達し、審査委員との質疑応答に的確に回答することなどのコミュニケーション能力も試される。
4. 修士論文などの論文については、複数の教員が専門的観点から評価を行う。

I 募集専攻及び募集人員

専 攻	募 集 人 員
国 際 公 共 政 策	各 専 攻 若 干 名
比 較 公 共 政 策	

出願者は、上記2専攻から、出願する専攻を選択してください。

「[教員スタッフ](#)」に記載の研究分野を参考にして、指導教員として希望する教員を決定し、第一希望教員の所属専攻を選択してください。なお、第二希望教員については、異なる専攻に所属する教員を選択しても構いません。

Ⅱ 入学試験に関する日程等

	日程等	対象者
出願資格審査 申請受付期限	2023年6月16日(金) 17時00分(必着)	出願資格(1)～(5)に該当せず、出願資格 (6)～(8)のいずれかの適用を受けようとする者のみ
出願資格審査 合格者発表	2023年6月23日(金)	
検定料 納入期間	2023年6月13日(火) ～2023年7月4日(火)16:30	全志願者(ただし、国費留学生及び 内部進学者等で不要場合がある ため注意)
出願書類 消印有効期日	海外発送: 6月21日(水) 日本国内: 6月30日(金)	出願書類を郵送で提出する場合(詳細は募集要項「VI出願方法及び注意事項」参照)
出願期間	2023年6月30日(金)～7月4日(火)	全志願者
	9:00～16:30 ※但し 11:30～12:30 及び土日は除く ※郵送の場合、最終日までに必着	
1次審査 合格者発表	2023年8月9日(水)13時	全出願者
2次審査関係(1次合格者のみ対象)	接続テスト	全受験者(ただし、 来学受験者は不要)
	口述試験	全受験者
	追 試	入試当日に接続トラブルにより口述試験 が実施できなかった受験者
	追試予備日	追試日に接続トラブルにより口述試験が 実施できなかった受験者
	追試予備日	前日の追試予備日に接続トラブルにより 口述試験が実施できなかった受験者
	合格者発表	全受験者
成績開示 申請期間	2023年8月28日(月)～9月30日(土)	希望者のみ
成績開示通知	2023年10月下旬	
入学手続期間	2023年9月13日(水)～2023年9月15日(金) 9:00～16:30 ※但し 11:30～12:30は除く ※郵送の場合、最終日までに必着	全合格者

Ⅲ 出 願 資 格 等

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の(2)から(8)において同じ。)を有する者及び2023年9月30日までに取得する見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2023年9月30日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2023年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7) 文部科学大臣が指定した者(平成元年文部省告示第 118 号)

① 大学又は専門職大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者及び2023年 9 月 30 日までに 2 年以上研究に従事する見込みの者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者及び2023年 9 月 30 日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2023 年 9 月 30 日までに 24 歳に達しているもの

○出願資格審査について

出願資格(1)～(5)に該当する方は、出願資格審査は不要です。

出願資格(6)～(8)のいずれかの適用を受けようとする者に対しては、出願に先立って「出願資格審査」を行います。

審査は、書類審査により行います。

審査に合格した者は、博士後期課程入学試験に出願することができます。審査の結果は本人あてに通知します。

【「出願資格審査」の必要書類等】

出願資格審査申請受付期限		2023年6月16日(金)17 時 00 分(必着)
出 願 資 格 審 査 申 請 書 類 (注 1)	出願資格(6)の者	① 出願資格審査申請書(所定様式) ② 履歴書(所定様式) ③ 審査合格確認(証明)書類 出身大学長等が作成(署名)したもので、以下の【様式例】に準じた内容が記載されたもの 【様式例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを認識し、報告いたします。 また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。 【添付資料の例】 ・当該審査の合格の基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料
	出願資格(7)の者	① 出願資格審査申請書(所定様式) ② 履歴書(所定様式) ③ 在学証明書 ④ 研究業績調書 ⑤ 研究従事内容証明書 ⑥ 最終学校の卒業証明書 ⑦ 最終学校の成績証明書 ⑧ 研究指導者等の推薦書
	出願資格(8)の者	① 出願資格審査申請書(所定様式) ② 履歴書(所定様式) ③ 在学証明書 ④ 研究業績調書 ⑤ 最終学校の卒業証明書 ⑥ 最終学校の成績証明書 ⑦ 研究指導者等の推薦書
出願資格審査合格者発表		2023年 6月23日(金)

(注1) 出願資格審査申請書類のうち、証明書は原本であること。コピーは不可。在学証明書は在学中の者のみ提出してください。

また研究指導者等の推薦書の提出は任意です。

提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれているものには出願者本人による日本語の翻訳文を添付してください。

ただし、公的機関の証明する翻訳文を求めることがあります。

(注2) 願書等は黒のボールペンで記入してください。(消せるボールペン、鉛筆の使用は不可。)

○出願者の区分について

出願者は次の3つに区分されます。

- 1 社会人
現に職を有する者
- 2 外国人留学生等
次の各号のいずれかに該当する者
(1)日本国籍を有しない者で、かつ、日本における永住資格を有しないもの
(2)日本国籍を有する者で、中学校から大学まで通算9年以上、外国の教育を受けたもの
- 3 一般
上記1、2のいずれにも該当しない者

IV 選抜方法

入学者の選抜は、1次審査(書類審査・外部英語試験)及び2次審査(修士論文審査・口述試験)の2段階選抜により行います。ただし、出願者数が一定数に達しない場合は、1次審査を行わず、全出願者に対し2次審査を行うこととします。この場合、書類審査及び外部英語試験の評価についても、2次審査の際に併せて審査し、総合的に可否を判定します。なお、1次審査を行わない場合は、受験票発送時にその旨を通知します。

1次審査

(1) 書類審査(修士論文を除く)及び外部英語試験により選考します。

(ア) 書類審査

研究計画書等の出願書類一式を総合して審査します。

(イ) 次の①～③のうち少なくとも1つの外部英語試験のスコア

ただし、証明書に記載された試験日が出願時から遡って5年以内のものを有効とします。

①Test of English as a Foreign Language(TOEFL)

※TOEFL iBT® Home Editionテストは可、TOEFL-ITPテストは不可

※TOEFL iBT® Home Editionを受験するためには、パソコンの他、カメラやマイクが必要になるなど、所定の条件があります。受験に際しては、必ず事前にTOEFLの下記サイトより、受験可能な環境が整っているかを各自ご確認ください。

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/at-home.html

②Test of English for International Communication(TOEIC)のListening & Reading Test

※TOEIC-IPテスト、TOEIC Bridge Testは不可

③International English Language Testing System(IELTS)アカデミック・モジュール

※ジェネラル・トレーニング・モジュールは不可

※IELTSアカデミック・モジュールには、紙と鉛筆で受験する方法と試験会場のコンピュータで受験する方法の2種類があります。いずれの受験方法でも有効です。

2次審査

(1) 修士論文審査及び口述試験により選考します。

2次審査は、1次審査合格者に対して行います。

(ア) 修士論文審査

(イ) 口述試験

研究計画書を中心に今後の研究計画等に関し行います。

(2) 口述試験の実施方法及び接続テストの実施について

口述試験はオンラインで実施します。受験者は自宅又はその他の使用できる施設等でインターネット環境が良好な場所からオンラインで受験してください。Zoom Cloud Meetings(以下「Zoom」という。)を使用します。

また、インターネット環境等に問題がないことを確認するため、全受験者に、接続テストを受けていただきます。

受験者は、次の日程について、終日、空けておいてください。各受験者の接続する時間などの詳細は1次審査合格者に対し、メールで通知します。

接続テスト	2023年8月22日(火)
	受験者は全員、必ず、受けてください。 受験者は入試当日に使用する予定の場所から Zoomに接続して実施してください。
口述試験	2023年8月27日(日)
	入試当日に接続トラブルにより口述試験が実施できなかった受験者については、追試験の受験を認めます。接続トラブルが生じた場合に備え、募集要項「Ⅱ入学試験に関する日程等」に記載の追試及び追試予備日についても、終日空けておいてください。

(3)オンライン受験に必要な準備

オンライン受験には、映像と音声を通じて口述試験担当者と問題なく会話ができることが必要です。具体的には受験者と口述試験担当者の双方において映像と音声は明確に認識でき、途切れがほとんどないことが必要です。接続テストの前に使用するパソコン等機器にZoomをインストールしておいてください。また、インターネット接続と必要な機器についてはZoomのシステム要件を参照し事前に準備しておいてください。ただし、できる限りインターネット接続は3Gを避け4G/LTEを使用してください。また、「プロセッサとRAMの要件」において「推奨」の基準を満たしておいてください。

(4)接続不良に係る来学受験について

オンライン受験に必要なインターネット環境等がない場合は、本研究科での来学受験を認めます(来学受験者については、接続テストの実施は不要)。
また、接続テスト又は口述試験当日において、接続不良と判定された日本国内の受験者に対して、本研究科から、来学受験を求めることがあります。
本研究科に来学して受験する場合も、対面ではなく、本研究科の教室にて、本研究科が用意したPCを用いて、オンラインで受験していただきます。なお、海外在住の受験者は、原則としてその所在地でオンライン受験できるよう調整してください。

(5)口述試験における不正

口述試験の最初に本人確認を行います。口述試験の内容は本研究科によって録画し、後に不正が発覚すれば、合格を取り消し、入学後においても入学を取り消す等の厳格な処分を行うので不正は決して行わないでください。
受験者又はその指示を受けた者が口述試験の内容を録画若しくは録音するか、又は追試日及び追試予備日を含む入試期間中に他言により漏洩した場合、口述試験中にパソコンやスマートフォン等の電子端末や書籍、ノート、紙などから口述試験に有利な情報を得た場合(以下「カンニング」という。)、又は、カンニングを疑わせる行為を行った場合も不正行為とみなします。(研究計画書も原則として参照を禁止としますが、口述試験担当者が許可した場合のみ参照が可能です。)このような場合には、合格を取り消し、入学後においても入学を取り消す等の厳格な処分を行いますので、こうした行為を決して行わないでください。

V 出 願 書 類 等

(1) **入学願書及び履歴書**(本研究科所定用紙)

オンライン受験においては、接続トラブル等で電話やE-mailでの連絡が必要となることもあるので、願書には受験者が常時受信できる携帯電話等の番号を記載してください。

願書の写真貼付欄には、正面上半身、脱帽、3ヵ月以内に撮影したもので、縦 5.5cm×横 4.5cm の大きさの写真を貼付してください。

(2) 大学又は専門職大学の**成績証明書**、**大学院修士課程の成績証明書**及び**修了(見込)証明書**

ただし、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。)を卒業した者は、学位授与証明書も提出してください。

(注1) 日本語又は英語で記載されている原本又は原本証明がされた書類であること。コピーは不可。

(注2) 英語以外の外国語で書かれている各種証明書には出願者本人による日本語の翻訳文を添付してください。

ただし、公的機関の証明する翻訳文を求めることがあります。

(注3) 複数の大学を卒業(見込)又は大学院を修了(見込)の場合は、全ての大学、大学院における「卒業又は修了(見込)証明書」「成績証明書」を提出してください。次の場合も含みます。

・ダブル・ディグリー・プログラム、ジョイント・ディグリー・プログラムにより複数の大学を卒業(見込)又は大学院を修了(見込)の場合。

・大学に編入学した場合。

・中途退学した大学(院)がある場合、在学した期間分の成績証明書を提出してください。

成績証明書が発行されない場合は、退学証明書を提出してください。

(注4) 外国人留学生等には、日本語能力の証明を要求することがあります。

(3)TOEFL、TOEIC又はIELTSのうち少なくとも1つの英語試験のスコア(2種類以上の試験のスコアを提出することも可)

ただし、証明書に記載された試験日が出願時から遡って5年以内のものを有効とします。

提出するスコアの種類及び提出方法は、次のとおりです。

	認められるスコアの種類	出願方法(いずれかの方法で提出する)
TOEFL	“Institutional Score Report” “Test Taker Score Report” “Examinee Score Report”	・受験者が、本研究科への直送 ^{※1} をETSに依頼する。 ※ETSから、郵送で受験者に原本が届くまでには長期間かかる場合があるため、可能な限り直送を依頼する。 ・受験者が、受験者自身への紙面の郵送手続きを行っておき、ETSから郵送された紙面の原本を本研究科に提出する。 ^{※2}
TOEIC	“Official Score Certificate”	・ETSから郵送された紙面の原本を本研究科に提出する。 ^{※2} ・2023年4月以降受験の場合、ETSから受験者に送付されるデジタル証明書(QRコードが記載されているもの) ^{※3} を、受験者が印刷し、本研究科に提出する(本研究科でQRコードと照合)。
IELTS	“Test Report Form”	・受験者が、受験者自身への紙面の郵送手続きを行っておき、IELTSから郵送された紙面の原本を本研究科に提出する。 ^{※2} ・受験者が、本研究科への直送 ^{※1} を英語試験実施機関に依頼する(本研究科へ紙面が届く)。
※1	送付先コード等:TOEFLはDI Code:7803、Department code:99、 IELTSはOsaka University, OSIPP宛。	
※2	受験者から提出された原本は受験票送付時に同封して返却します。海外在住の受験者に対しては、2次審査の合格者発表後に、返却します。(試験実施機関から直送されたスコアは、原則として返却しませんので、ご了承ください。)	
※3	紙面の原本を提出することが基本であるため、受験者自身がPDFを印刷したものは、原則として受理しない。ただし、TOEICに限り、スコアに記載のQRコードを読み取ることで、本研究科が内容を照合できるため、デジタル証明書の印刷提出を認める。	

(4) 審査を希望する論文等

修士論文その他の論文・書籍等で審査を希望するもの2編以内を**3部**(コピー可)提出してください。

日本語又は英語以外の言語で書かれている論文等を提出する場合は、原則として、日本語又は英語の翻訳文を添付してください。

(注)提出された論文等は返却しません。

(5) 研究計画書

研究計画書を**7部**(コピー可/全て記名要)提出してください。ただし、オリジナルには本研究科所定の表紙をつけてください。

・使用言語は日本語又は英語としてください。

・A4の用紙(30行程度)に横書きとし、MS Word等で作成してください。

分量については、本文は、日本語の場合は5,000字程度、英語の場合は1,600語程度で、表紙を除く参考文献・脚注・図表等を含めて、6頁以内(厳守)としてください。

・研究計画書の内容は、現在までの研究状況及びこれからの研究計画について、以下1.(i)(ii)と2.A, B.(i)(ii)について、わかりやく記述してください。

1. 現在までの研究状況

(i)これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。

(ii)申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、iで記載したことと関連づけて説明してください。

2. これからの研究計画

A. 研究の背景

1.で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記述してください。

B. 研究目的・内容

(i)研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。

(ii)どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記載してください。

(注)提出された研究計画書は返却しません。

(6) 受験票

(7) 検定料 30,000 円

検定料納入システムにより納入してください。(手数料は入学志願者の負担となります。)

【URL】<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/ja/procedures-to-pay-examination-fee/>

システム上で納入完了後、検定料収納証明書(PDFファイル)をダウンロードし、A4サイズで印刷の上、他の出願書類と併せてご提出ください。

※本学大学院博士前期課程、修士課程及び法科大学院の課程を2023年9月修了見込みの者は検定料の納入を要しません。

※日本政府奨学金留学生(文部科学省国費外国人留学生)(以下「国費外国人留学生」という。)として入学(出願)する場合は、納入は不要です。

なお、諸事情により、検定料を検定料納入システムにより納入できない場合は、時間に余裕を持って教務係までご相談ください。

※1次審査に不合格になった場合においても、検定料の返還はできませんので、ご了承ください。

検定料納入期間	2023年6月13日(火)～2023年7月4日(火) 16:30
---------	----------------------------------

(8) 受験票送付用封筒

出願者の住所、氏名、郵便番号を明記した封筒(長形 3 号、23.5 cm×12 cm)に 354 円切手を貼付してください。ただし、郵便料金の改定が行われた場合は、50g以内の定形郵便料金に速達料金を加えた額に相当する切手を貼付してください。

海外在住者はメール送付のため不要です。

(9) 在留カード(両面)の写し

日本国籍を有しない外国人志願者ですでに渡日し住民登録を行っている者は、在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの両面を A4 サイズの用紙にコピーして提出してください。

(10) 国費外国人留学生は国費外国人留学生証明書、政府派遣の留学生はその証明になる書類

(11) 推薦書(提出は任意)

提出希望者は、本研究科所定用紙又はそれに準じた様式により提出してください。使用言語は、日本語又は英語とし、推薦者直筆のサイン及び問い合わせ先を記入してください。2 通まで提出することができます。

なお、推薦者本人により厳封されたものとしてください。

※本研究科教員による推薦書は不可。

(12) チェックリスト

VI 出願方法及び注意事項

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、大阪大学大学院国際公共政策研究科教務係へ送付又は持参してください。

(1) 出願期間

出 願 期 間	2023年6月30日(金)～7月4日(火) 9:00 ～ 16:30 ※但し 11:30 ～ 12:30及び土日 は除く
---------	--

(2) 出願書類等の提出先

〒 560-0043 豊中市待兼山町 1 番 31 号

大阪大学大学院国際公共政策研究科教務係

電話(06)6850 - 5612(直通)

(3) 出願書類を送付する場合

(ア) 日本国内から送付する方は、封書の表に**朱書き**で「**国際公共政策研究科博士後期課程(2023年10月入学)入学願書****在中**」と記入し、必ず**書留速達郵便**としてください。6 月 30 日までの消印のある書留速達郵便に限り、出願期間後に到着した場合でも受理します。

- (イ) 海外から送付する方は、EMS、FedEX、DHL、UPS 等で送付してください。6 月 21 日までの消印のあるEMS等(追跡可能なもの。ただし船便やSAL便は除く)に限り、出願期間後に到着した場合でも受理します。ただし、出願期間の初日時点で、志願者自身が配送状況を確認し、当研究科に届いていない場合は、「追跡用URL及び追跡番号」並びに「提出した全ての出願書類(写)」を、出願期間内にメール(宛先:kyomu@osipp.osaka-u.ac.jp)で送付してください。この手続きを経ずに出願期間後に到着した出願書類については、一切受け付けませんので、注意してください。
- (ウ) 郵送された出願書類は、出願期間より前に到着しても差し支えありません。

(4) 注意事項

- (ア) 出願手続後の書類記載事項の変更はできません。
- (イ) 願書等は黒のボールペンで記入してください。(消せるボールペン、鉛筆の使用は不可。)
- (ウ) 受験票は、7月25日頃に発送します。
- (エ) 出願書類(英語試験のスコアを除く・各種証明書の原本を含む)の返還はできません。また検定料の払戻は一部を除きできません。(検定料納入システム参照)
- (オ) 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (カ) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を希望するものは、原則として2023年 6 月16日(金)までに大阪大学大学院国際公共政策研究科教務係までご連絡ください。
- (上記期日以降にも相談を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことや、修学上の配慮については希望日に開始できないことがあります。また、希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。)

Ⅶ 合格者発表

発表は、1次審査及び2次審査の合格者の受験番号を掲示により行います。
参考までに、本研究科ウェブサイトにも掲載します。(ただし、ウェブサイトの掲載は1時間程度遅れる可能性があります、ご了承ください。)
また、可否結果については、2次審査に合格した方のみ「合格通知書」を郵送します。
(1次審査及び2次審査における不合格者への郵送等による通知は、致しません。また、電話、Eメール等による可否の問い合わせには応じません。)

1 次審査

日 時	2023年8月9日(水)13時
場 所	大阪大学大学院国際公共政策研究科棟玄関

同日14時頃に、1次審査合格者に対して、2次審査の案内をメールで通知します。
1次審査に合格したにも関わらず、万一同日中にメールが届かない場合は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

2 次審査

日 時	2023年9月8日(金)13時
場 所	大阪大学大学院国際公共政策研究科棟玄関

Ⅷ 入学手続

日 時	2023 年 9 月 13 日(水)～2023 年 9 月 15 日(金) 9:00 ～ 16:30(必着) ※但し 11:30 ～ 12:30 は除く
場 所	大阪大学大学院国際公共政策研究科教務係
手続内容	入学手続に関する詳細については、合格通知書送付時に通知します。 なお、入学手続に必要な経費は入学料 282,000 円です。後期分授業料 267,900 円(年額 535,800 円)は 11 月下旬の所定の期日までに納入してください。

(注 1) 合格者は、原則として郵送で入学手続をしてください。手続書類に不備があった場合には受理できないことがありますので十分ご注意ください。
所定の期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

(注 2) 本学大学院博士前期課程、修士課程及び法科大学院の課程を2023 年 9 月修了見込みの者は、入学料を納入することを要しません。

(注 3) 国費外国人留学生として入学する者については、入学料及び授業料を納入することを要しません。

(注 4) 入学料・授業料の金額は、変更することがあります。
在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

IX 入試情報の開示について

入学試験における個人成績

入学試験における個人成績に関しては、以下を公開します。

- ・英語成績(可否のみ)
- ・書類審査の最終点数
- ・口述試験の最終点数[2次審査受験者のみ]
- ・論文の最終点数[2次審査受験者のみ]
- ・合格者の最低点数(英語の最低点数を除きます。)

申請方法

本研究科所定の入試成績開示申請書を用いて申請してください。申請期間は、口述試験の翌日から9月29日までとします。(必着)

通知は、10月下旬頃に開示を希望する本人宛に「親展」で送付します。

X 個人情報の取扱いについて

- ① 出願時に提出していただいた氏名、住所その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務並びに「学生支援関係(奨学金申請・授業料免除)」を行うために利用します。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、修学指導)」、「学生支援関係(健康管理、奨学金申請・授業料免除、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- ② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- ③ 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部又は、一部を提供します。

XI 参 考

授業科目の構成、「大学院設置基準第 14 条」^(注)適用の授業及び履修方法等、本研究科の内容については、本研究科ウェブサイト等を参照してください。

(注) 大学院設置基準第 14 条(第 14 条特例)

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において、授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

2023年 4 月

問い合わせ先

〒560 - 0043 豊中市待兼山町 1 番 31 号
大阪大学大学院国際公共政策研究科教務係
電話(06)6850-5612(直通)
E-mail : kyomu@osipp.osaka-u.ac.jp

2023年度 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程
(2023年10月入学)

入 学 願 書

年 月 日

大阪大学総長 殿

フリガナ		
氏 名	(姓 Family Name)	(名 First Name)
生年月日	年 月 日 生	性別 ※ ☐ 男 ☐ 女 ☐ 該当なし

私は、大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程に入学したいので、必要書類を添えて出願します。

本学の博士前期(修士)課程出身者は学籍番号		受験番号	
出願者の区分	※ ☐ 一般 ☐ 社会人 ☐ 外国人留学生等(※ ☐ 国費 ☐ 私費 ☐ 政府派遣)		
出願を希望する専攻	※ 第1 希望指導教員の所属する専攻を選択する ☐ 国際公共政策専攻 ☐ 比較公共政策専攻		
スコアを提出する外部英語試験 ※受験日を記載してください。	TOEFL(iBT PBT)		年 月 日
	TOEIC		年 月 日
	IELTS		年 月 日
本研究科での 来校受験希望 の有無	☐ 来学受験を希望する ☐ 来学受験を希望しない 日本在住の方で、自宅にオンライン受験に必要なインターネット環境が整っておらず、自宅以外の場所 で利用できる環境がない受験者		
出身大学名	大学 学部 学科 (年 月 卒業)		
出 願 資 格	※ 募 集 要 項 の「Ⅱ 出 願 資 格 等」の該当する受験資格の番号に○印してください。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)		
〔出身大学院名〕	大学大学院 研究科 専攻 ※ ☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ 海外の大学(年 月 ※ ☐ 卒業 ☐ 卒業見込)		
本 籍 地	(日本国籍の者は都道府県名、外国籍の者は国籍を記入してください。)		
研究題目 (簡潔に)	「主題」 (副題がある場合は副題)		
審査を希望する 論文題目等			
指導教員として 希望する教員名	第1希望	第2希望	
現 住 所 連 絡 先	(〒 -)		
	電話 - - 携帯電話 - -		
	E-mail (左詰)		
現 住 所 以 外 の 連 絡 先	(〒 -)		

- (注) 1. 受験番号以外を本人が記入してください。
2. ※の項は該当する事項を○印で囲む、又はチェックボックス(□)のうちいずれか1つを選択(☑若しくは■)してください。
3. 「指導教員として希望する教員名」欄は必ず第2希望も記入してください。

履 歴 書
Curriculum Vitae

Osaka School of International Public Policy Doctoral Course
大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程

学 歴 Academic Background	教育課程	Name of School 学校名 (Country or Region of Location 所在国名)	Standard Period of Study [正規の修業年限]	入学・卒業の年月
	初等教育 (小学校) Elementary School			Enrollment 入学 YYYYYY 年 月
		(国) [年]		Graduation 卒業 YYYYYY 年 月
	中等教育 (中学校) Junior High School			入学 年 月
		(国) [年]		卒業 年 月
	中等教育 (高等学校) High School			入学 年 月
		(国) [年]		卒業 年 月
	高等教育 (大学) University (Undergraduate Level)			入学 年 月
		(国) [年]		卒業 年 月
	高等教育 (大学院) University (Graduate Level)			入学 年 月
		(国) [年]		(Expected) Completion 修了 (見込み) 年 月
				年 月
		(国) [年]		年 月
	Total 計 [年]			
職 歴 ・ 研 究 歴 等 Job History・Research History	勤務先・研究機関等の名称/ Name of Employer (Institution) [在籍年月/Period]			従 事 期 間
	[年 月]			自/From 年 月 至/To 年 月
	[年 月]			自 年 月 至 年 月
	[年 月]			自 年 月 至 年 月
	[年 月]			自 年 月 至 年 月
取得した学位 Conferred Degree	学位の名称/Name of Degree	取得年月日/Conferred Date	授与機関名/Institution	

(注) 初等教育から高等教育まで日本で教育を受けた者は、学校の所在国名欄、初等教育(小学校)欄及び中等教育(中学校)欄を省略してもかまいません。

受験番号

2023 年度 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程
(2023年10月入学)

Osaka School of International Public Policy Doctoral Course
(Enrollment in October 2023)

Research Proposal
研究計画書表紙

フリガナ <i>Furigana</i>	
Name 氏 名	

Applicant Category 出 願 区 分	※ General admission 一般 ・ Non-students 社会人 ・ International 留学生等 (※ MEXT scholar 国費 ・ Private-funded 私費 ・ Government dispatched 政府派遣)
Department to Apply 出願を希望する専攻名	※ 第 1 希望教員の所属する専攻に○印 International Public Policy 国際公共政策専攻 ・ Comperative Public Policy 比較公共政策専攻 Please circle one of the departments which your first desired supervisor belongs to.

Research Title 研 究 題 目	
---------------------------	--

Date (Year/Month/Date) 作 成 日	年 月 日
---------------------------------	-------

(注) 1. 受験番号以外は本人が記入してください。

All the information, except the examination number, must be completed by the applicant.

2. ※の項は該当する事項を○印で囲んでください。

Please circle the appropriate choice for items marked with a ※ symbol.

Examinee's Number 受験番号			
Osaka School of International Public Policy Doctoral Course 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程 (2023年10月入学/Enrollment in October 2023)			
Examination 受		Admission 験	Card 票
Please bring this card during the examination. (注) 受験中は本票を必ず携帯してください			
フリガナ N a m e 氏 名			
Applicant Category 出願者の区分	※	General admission 一般	Non-students ・ 社会人
			International students ・ 外国人留学生等
Department to Apply 出願を希望する専攻	※	International Public Policy 国際公共政策専攻	Comperative public Policy ・ 比較公共政策専攻

※印欄は○印で囲んでください。 / Please circle the applicable choice for items marked with a ※ symbol.

..... 切り離さないでください

切り離さないで、このまま提出してください。

Please submit this page without detaching the bottom half.

博士後期課程【DC】（10月入学）チェックリスト

このチェックリストを一番上にして、出願書類を並べて提出してください。（本チェックリストもご提出ください。）

区分：一般・社会人・留学生 専攻：国際公共政策・比較公共政策 いずれかを○で囲む

願書記載氏名： _____（外国籍の方は、英語試験のスコアに合わせたアルファベット表記の氏名を併記してください。）

No.	書類	確認事項
1	入学願書・履歴書	☐ 記入漏れはないか。 ☐ 写真（正面上半身、脱帽、3ヵ月以内に撮影）の貼付があるか。 ☐ 出願資格は正しいか。 ☐ 出身大学・学部、大学区分、卒業（見込）年月は、証明書と一致しているか。 ☐ 希望教員名を第2希望まで書いているか。 ※資料「教員スタッフ」に載っている教員であること。
2	大学の成績証明書 修士課程の成績証明書 修士課程の修了（見込）証明書	☐ 外国の大学卒業者は、学位授与証明書も提出しているか。 ☐ 原本であること。 ※日本語・英語以外の場合は、日本語の翻訳文が必要（出願者自身による翻訳で良い）。
3	英語試験のスコア	☐ TOEFL、TOEIC又はIELTSのうち少なくとも1つあるか。（2種類以上の提出も可） ☐ 原本（紙）であること。※PDFを自分で印刷したものは不可 ☐ 試験日が出願時から5年以内（2018.6.30以降[秋期入試]のものか。） ☐ 次のいずれかに該当するか。 TOEFL：“Institutional Score Report”又は“Test Taker Score Report”ないし “Examinee Score Report” ※TOEFL-ITPテストは不可 TOEIC（Listening & Reading Test）：“OFFICIAL SCORE CERTIFICATE”（原則、写真付） ※ TOEIC-IPテストは不可（TOEFL iBT Home Editionテストは可） IELTS（アカデミック・モジュール）：“Test Report Form” ※ジェネラル・トレーニング・モジュールは不可（Computer Deliveredは可）